

## 『セルラス入会の大きな壁—夫の変化—』

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人「多言語広場 CELULAS」のメルマガ第 37 号

この週末は、山梨の夫の実家に行ってきました。空気が澄んでいて紅葉がとってもきれいで、癒されて帰ってきました。気づけばもう 11 月半ば。東京もそろそろ葉が色づいてきて、キレイな景色が楽しみです。

さて、機関誌 CELULAS 第 5 号が発刊されています。セルラスの活動に目覚めたお父さんや、理事長の声も載っていて、これ 1 冊でセルラスの今を感じてもらえる作りになっています。ぜひご一読ください。

<http://www.celulas.or.jp/kikannshi.html>

家族が参加していてもセルラスと接点のないお父さんは、セルラスって何やってるんだ？

怪しい…と思う人も少なからずいるのでは、と思います。

そんな、最初は懐疑的だったお父さんが、家族の様子や娘の変化を通して、協力的になり応援してくれるようになったお話を今日はご紹介したいと思います。

それでは、—世界に通じるチカラを育てる—『多言語広場セルラス メルマガ』第 37 号の目次です。

---

### 【 目次 】

≪1≫ 『セルラス入会の大きな壁—夫の変化—』

≪2≫ セルラス インフォメーション

---

#### ≪1≫ 『セルラス入会の大きな壁—夫の変化—』

神奈川県厚木市在住 名倉さん（家族構成：夫、小 5 娘、年長息子）

私たち家族はセルラスに入会して 3 年が経とうとしています。

講演会で話を聞いた後に、オープンセルラスに行きロールプレイを体験した娘は「楽しい！」と。

けれど、「そうか楽しいのか！ならば入会」とは中々いきませんでした。

我が家には夫と言う大きな壁がありました。

「多言語？ 何それ？ NPO 法人？ 怪しい団体に決まっている！」

いくら体験会が楽しかったと伝えても、中々首を縦には振ってもらえませんでした。

夫婦間の話し合いでは一方通行になり、娘にやりたいならお願いしてごらんとっても…

「お母さんお願い、代わりに言ってちょうだい！」と言うような依存型の娘だったのです。

娘が親に依存する姿勢を変えたい思いもあり、娘と一生懸命意思表示をしようと話し合い、

何とか夫に気持ちを伝えて、納得してもらい入会に至りました。

入会して気づいたことは、私が娘を意思表示が苦手な子に育ててしまったという事でした。ロールプレイは楽しいけれど、自己紹介や発表では、人前に立つだけで下を向き、目に涙をいっぱい溜めてピアザの時間を過ごすことが1年近く続きました。私の中では、娘が発表もせずこんな1時間半を過ごすのなら、ピアザに行く必要がないのではないかと疑問が湧き、毎週連れて行く事が段々苦痛になっていきました。そして「また週末がやって来たか…」と思うようになっていったのです。

そんな中、娘は3年生になりました。サマーキャンプに行く？と聞くと行きたいと答える娘に、「自己紹介あるよ！」という「練習する！」と答えたので、夏休みに入ってから毎日、4歳の弟と自己紹介を練習し、何とか形になってきてサマーキャンプに送り出しました。帰ってきて一番心配だった「自己紹介どうだった？」と問いかけると「出来なかった…」という答えが返ってきました。でもそれ以外は楽しかったようで「また来年もサマーキャンプに行きたい！」と言われたけど、正直私は行かせたくない思いの方が強かったのです。今思えば親を離れて3泊4日、サマーキャンプに参加した事だけでも凄いことなのに私自身が子供に対してハードルを上げすぎていたのでしょう。

4年生になり2度目のサマーキャンプが近づいてくる頃には、毎週のピアザでやるように、家でもロールプレイを親子でしたり、一生懸命役になりきり、色々なシチュエーションで楽しむようになりました。自己紹介が出来なくてもロールプレイを楽しむことで、キャンプがもっともっと楽しくなれば良いなあ〜と、そんな思いで送りだしました。

すると、キャンプから帰ってきた週のピアザで、人前に立つことすら苦痛な娘がなんと！！自分から手を挙げてみんなの前でキャンプの感想を話しているのです。しかもとても楽しそうに。その姿にびっくりしたのと同時に、この子はキャンプに参加して何かが変わったと心から実感できた瞬間でもありました。

娘が自分から「セルラスに入りたい！」と言った言葉を受け止め、母親の私とは対照的に、じっと我慢しながら、娘がいつか変わると信じていた夫は、娘のサマーキャンプでの成長ぶりに驚き、「来年のサマーキャンプに行ったらどんな風に変化が起きるのだろう？」と娘をキャンプに送ることを楽しみにするようになりました。そして今年は、中国に単身赴任しているにもかかわらず、家族のSkypeで、夫は娘に「今年もキャンプに行きたいのか」と聞き、娘が「行きたい」と答えると、今度は私に向かって「今年も必ずサマーキャンプに行かせてくれ」と頼んだのです。

子供の変化もそうですが…、あんなに頑なにこの活動を怪しみ、反対していた夫の変化に「あれ？いつの間に？」と言いたくなるような驚きを感じました。

この3年で夫のセルラスに対する目線は確実に変わってきました。もともと仕事で、中国、ベトナム、アメリカに出張することの多い夫は、グローバル社会に向けて何が必要なのか知っていたのでしょう。帰宅時に私たちがSkypeで多言語をシャドウイングしていると関心を示すようになり、「だいたい言っていることが

わかったぞ」などと、終わってから話しかけてくるようになりました。

夫は昨年11月下旬から中国に単身赴任しているのですが、週に1度は家族とSkypeで話をしている、その時にも新しく覚えた挨拶の中国語を子供たちに教えてくれます。

そして今週どんなことがあったか、子どもたちと30分から1時間は話しています。

この夏休みに長女と長男を連れて、夫の住む中国の広州に出かけました。

私は「あいさつさえできれば話せる」という気持ちをセルラスの体験を通していつのまにか持てるようになっていて、中国に行ったら自分から挨拶するという目標を持っていきました。税関を通過して空港を出る時から係員の方に「謝謝」とかホテルのドアマンの方やお掃除の方にも毎日「おはよう」「こんばんは」と中国語でこちらから挨拶しました。皆さんとても喜んでくれました。

また子どもたちは、夫がレストランで中国語を使い注文し、帰りにお腹が痛くなってトイレに行きたがる娘を、近所のホテルでトイレを使わせてもらうよう交渉してくれた姿に「お父さんすごい！」とっていました。

私も子どもたちも中国が好きになり、そこで暮らし働く夫のことを尊敬するようになりました。

普段はセルラスの活動に参加していない夫ですが、空気のように家庭の中にあつたセルラスの環境に、いつのまにか馴染み、理解してくれていました。

これからの親子での活動がますます楽しみです。

## 《2》セルラス インフォメーション

### ◆ フェスティバル 2016 ◆

今年もセルラスの大きなイベントのひとつ、「フェスティバル」の季節がやってきました！

関東と関西で、企画・運営から青少年を中心に準備しています。

参加ご希望の方は、セルラス本部事務局にお申し込みの上ご参加ください。

\* 関東 12月4日(日)13:30~16:30 会場: 恵比寿

\* 関西 12月11日(日)13:00~16:30 会場: 尼崎

お申込み先: セルラス本部事務局 TEL03-5333-8202

\*\*\*\*\*

このメールマガジンは、これまでセルラスが開催した『多文化教育講演会・セミナー』に参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せていただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントやセミナーなどのお知らせを、月2回の予定でお届けします。

メールアドレス変更、配信停止はこちらから

[http://www.melstop.com/melstop/73105793/bS1rb25vQGNibHVvYXNub3luanAjl3JhbmRhbSMjNTE3NA\\*\\*](http://www.melstop.com/melstop/73105793/bS1rb25vQGNibHVvYXNub3luanAjl3JhbmRhbSMjNTE3NA**)

----

このメッセージにウイルスは検出されませんでした。

AVG によってチェックされました - [www.avg.com](http://www.avg.com)

バージョン: 2016.0.7924 / ウイルスデータベース: 4664/13454 - リリース日: 2016/11/22